

様式第4（第4条関係）

記入例

（表）

※整理番号	
-------	--

騒音に係る特定施設設置（~~使用、変更~~）届出書

平成〇〇年 △△月 ××日

鹿児島市長 殿

届出者 住所 鹿児島市〇〇町△△番××号

氏名 株式会社〇〇××

代表取締役 △△ ××

鹿児島市環境保全条例第8条（~~第9条、第10条~~）の規定により、特定施設について次のとおり届け出ます。

特定工場等の名	〇〇△△店		電話番号	△△△-××××				
特定工場等の所在地	鹿児島市 〇〇町△番××号		用途地域	商業地域				
公害防止担当責任者	職名	主任	氏名	〇〇 ××				
業種	飲食店		従業員数	15人				
主要生産品目	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td rowspan="3"> 主要生産品目が特に無い場合は、未記入でかまいません </td> </tr> <tr> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>		1	主要生産品目が特に無い場合は、未記入でかまいません	2	3	その他の特定施設の有無	1 ばい煙 2 粉じん 3 汚水 ⑤ 振動
1	主要生産品目が特に無い場合は、未記入でかまいません							
2								
3								
作業時間	10時00分から 10時間 20時00分まで		月当たり作業日数	30日間/月				
※受理年月日	年 月 日		※備考					

…用途市地計画が法に指定の場場合は「指定無し」と記入

備考

- 届出者が法人である場合にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地を記載すること。
- 「その他の特定施設の有無」欄は、騒音に係る特定施設のほかに、条例第2条第5号に規定する特定施設として届け出たものの項を○で囲むこと。
- ※印欄は記載しないこと。

備考5(2)特定施設の配置図の番号と一致させてください。

同じ型式の特定施設が複数ある場合は一つにまとめて下さい。

(裏)

工場又は事業場における施設番号		1号機	2、3号機	
特定施設番号		4	4	
特定施設の種類		圧縮機	圧縮機	
名称・型式		R2012-△△	R2010-××	
設置年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日
着工予定年月日		〇〇年△月××日	〇〇年△月××日	年 月 日
使用開始予定年月日		〇〇年△月××日	〇〇年△月××日	年 月 日
規模		22.5 k w	15 k w × 2 台	
使用の方法	1日の使用時間及び使用の形態	10時00分～20時00分	10時00分～20時00分	時 分～ 時 分
	1月当たりの作業日数	30日	30日	
	季節変動	夏・冬に運転	夏・冬に運転	
騒音の防止の方法		<ul style="list-style-type: none"> ・低騒音型の機器を選択 ・防音壁の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・低騒音型の機器を選択 ・防音壁の設置 	

備考

- 「特定施設の種類」欄には、鹿児島市環境保全条例施行規則別表第1の4に掲げる項番号及び施設名を記載すること。
- 条例第8条の規定による届出の場合には着工予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、条例第9条の規定による現に設置している特定施設についての届出の場合には設置年月日の欄に、条例第9条の規定による設置のための工事をしている特定施設又は条例第10条の規定による特定施設の変更についての届出の場合には設置年月日、着工予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 「規模」欄には、騒音を発生する施設の規模に応じて、騒音発生施設の面積 (m²)、原動機の定格出力 (kW)、混練重量等を記載すること。
- 「騒音の防止の方法」欄には、消音器、遮音塀等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を記載し、できる限り図面等を添付すること。
- 次の書類を添付すること。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| (1) 付近の見取図 | →付近の道路、民家等を明示した図(住宅地図等) |
| (2) 騒音に係る特定施設の配置図 | →事業場内における圧縮機の位置を明示した図 |
| (3) 操業工程の概要図 | →操業方法等を系統的に明示したもの |
| (4) 特定施設の構造図 | →パンフレット・カタログ等 |